

フルボ酸による
【どじょう養殖 + 水耕野菜栽培】
システム

アクアポニックス事業企画書



DJプロジェクト株式会社
代表 嶋崎 成

2026年 3月 吉日

食の安心・安全と日本の農業が直面する課題



食の安心・安全



高齢化・後継者不足

- * 輸入食品の氾濫による食の安全性への不安。
- * 農業従事者の高齢化と後継者不足による地域産業の衰退
- * 真の健康と国の食糧自給率向上が、今まさに求められている。

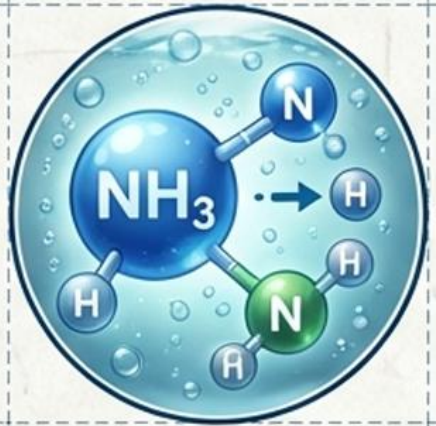
アクアポニックス (Aquaponics) とは？

魚の養殖 × 水耕栽培 = 循環・融合



魚の排泄物を植物が栄養として吸収し、植物が浄化した水を魚に戻す。土を使わず、化学肥料も使用しない、完全循環型の農業システム。

独自技術：天然酵素「フルボ酸」の活用



アンモニア分解
(無害化)



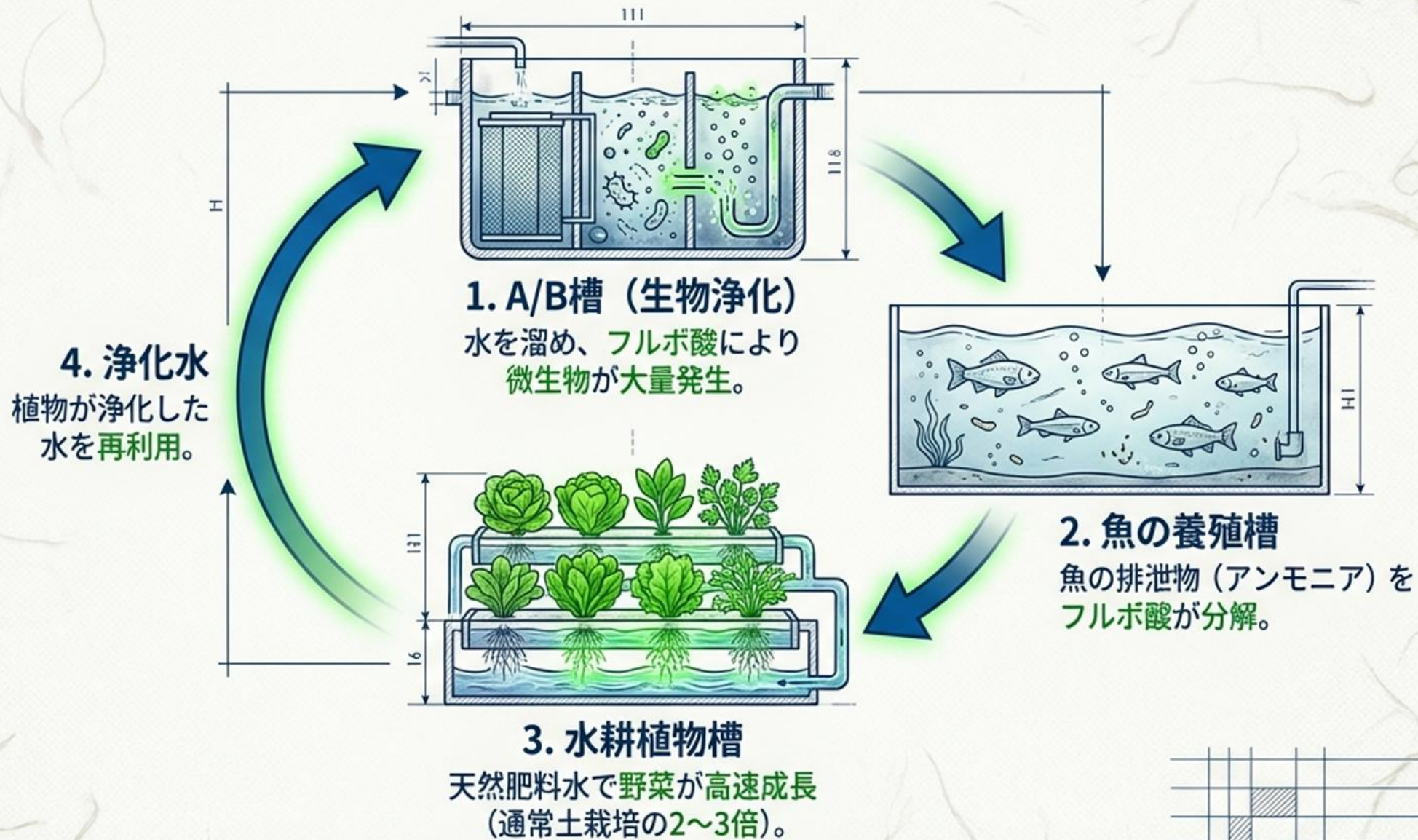
キレート化作用
(吸収促進)

無農薬・無投薬
(病気予防)



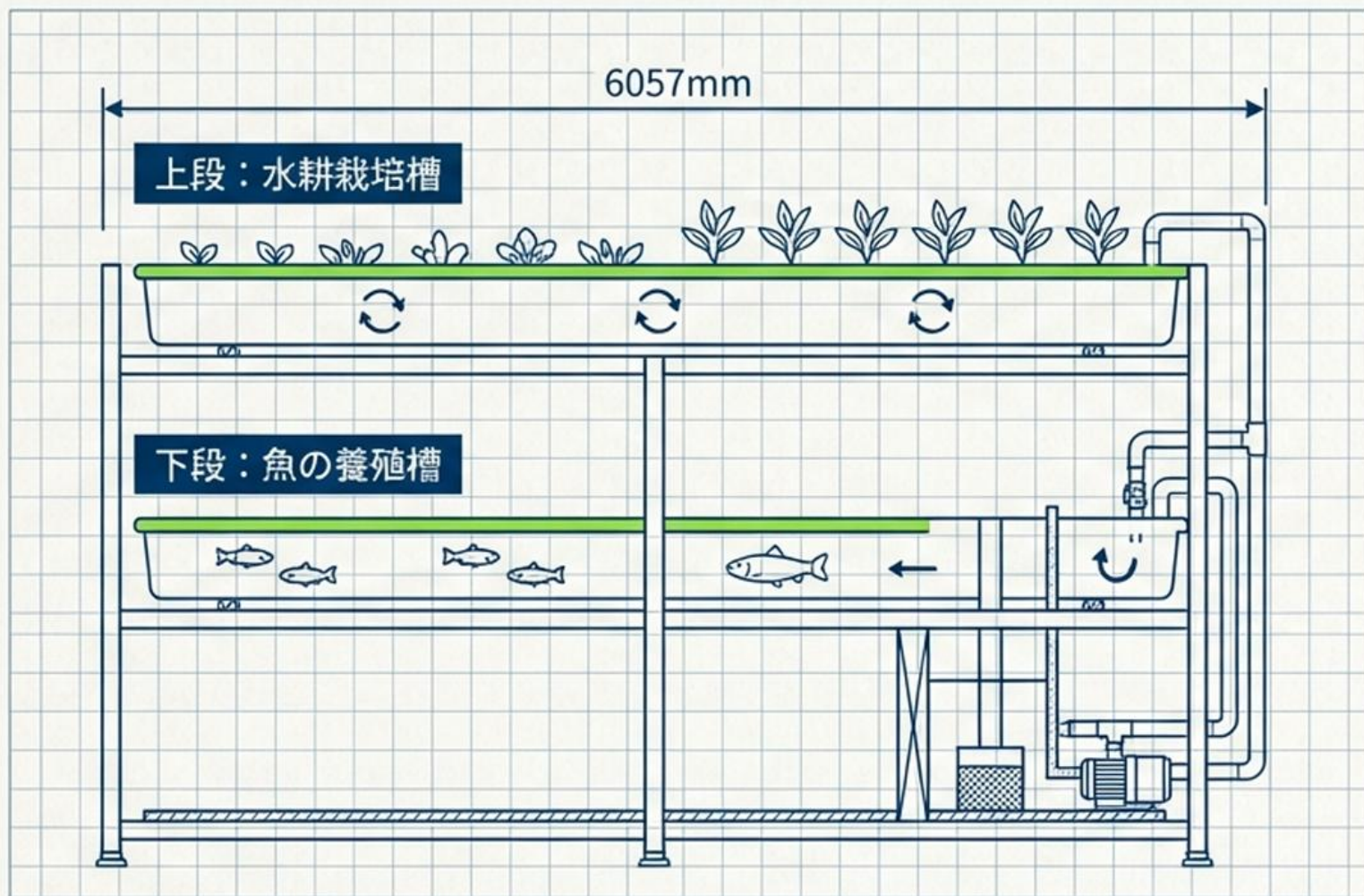
魚に有害なアンモニアを効率よく硝酸塩（植物の栄養）へ変換。ミネラルや微量元素を植物が吸収しやすい形に変え、抗生物質なしで魚の病気を防ぐ。

循環システムのメカニズム



システムハードウェアと設置イメージ

循環ポンプによる水温調節機能完備（夏季・冬季対応）



Noto Sans JP

戦略的商材： 「どじょう養殖」への着目

Noto Serif JP

- 国内総需要は55tだが、供給不足状態。
- 「うなぎ」の高騰・資源枯渇による代替需要。
- 農薬による激減で市場単価が高騰（想定 Kg/4,000円）。



うなぎを凌ぐ栄養価：どじょうのポテンシャル

「うなぎ1匹、どじょう1匹」と言われるほどの滋養強壮効果。

100gあたりの栄養価比較

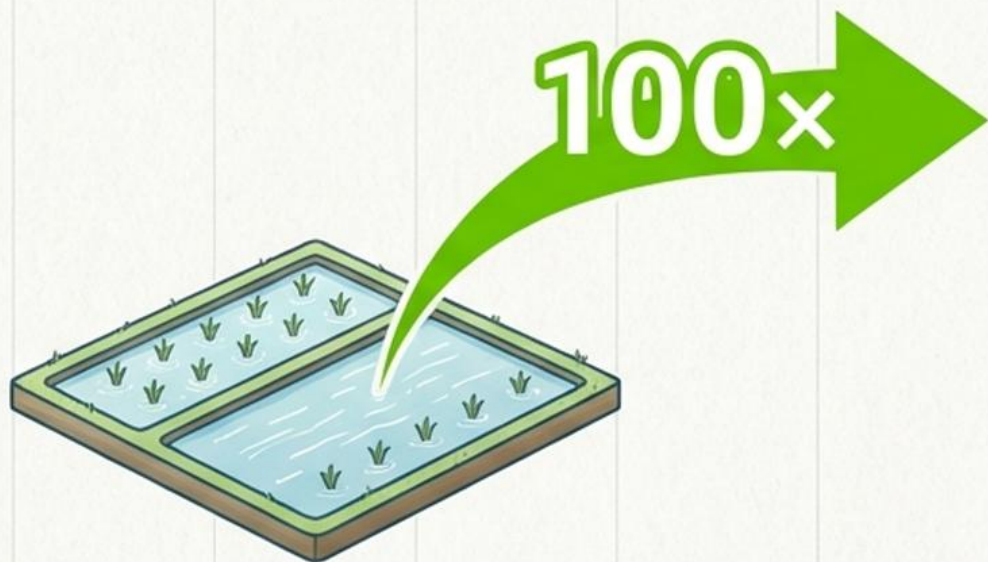


カルシウムは骨と歯の形成に不可欠。

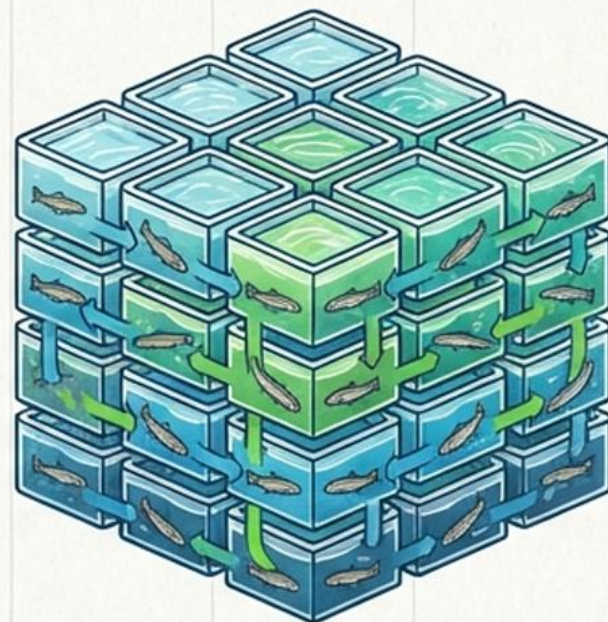
ビタミンB2はと歯の形成に不可欠。

鉄分は抵抗力で生養に不可欠。

圧倒的な生産効率：完全プール化養殖



従来養殖（田んぼ）



完全プール化養殖

高密度



高密度

10m²あたり100Kgの
収穫が可能（従来比
約100倍）

回転率



回転率

人工孵化技術により
年3回の出荷サイクル

通年出荷



通年出荷

ハウス温度調節で
1年中供給可能

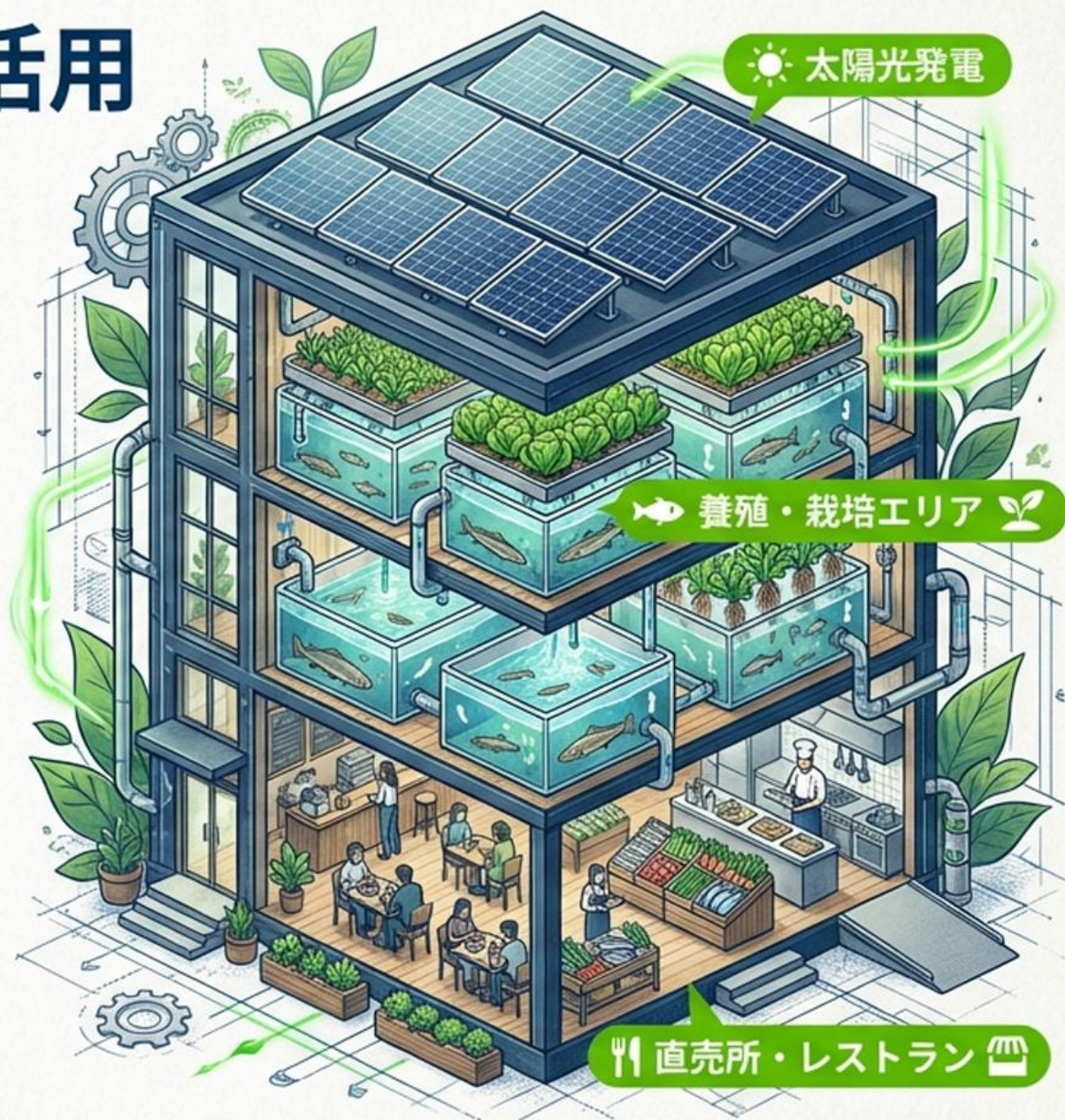
6次産業化ビジネスモデル

生産から販売までを一貫して行い、付加価値を最大化する。



地域活性化と遊休施設の活用

- 廃校や工場跡地を利用した「アクアポニックスビル」構想。
- 高齢者や障害者への雇用創出（重労働なし）。
- 地域おこしの起爆剤として展開。



アクアポニックス事業の5つの優位性



安全性

フルボ酸による
完全無農薬



経済性

100倍の
高密度養殖



市場性

高単価な
「どじょう」



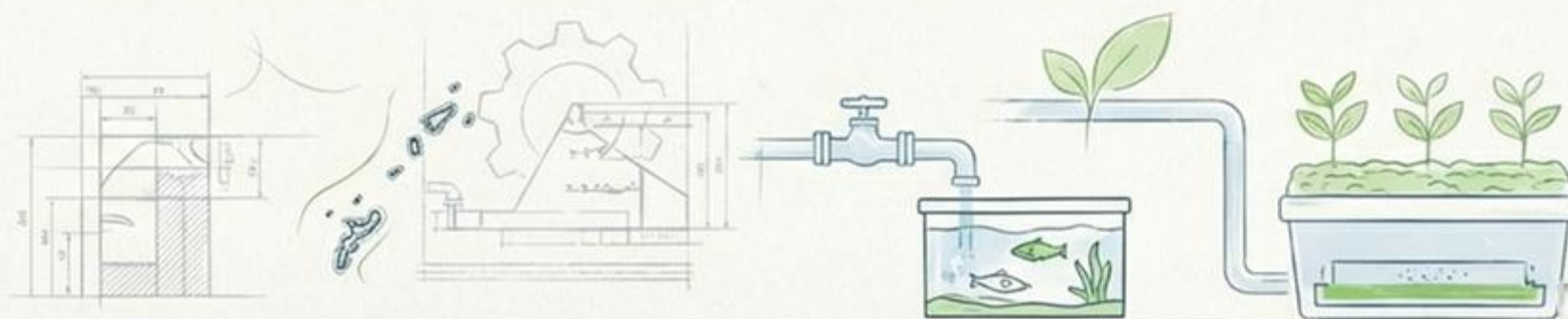
社会性

地域貢献・
雇用創出



拡張性

家庭用から
プラントまで





次世代の食料生産システムへ

詳細な数値計画については、別添資料をご参照ください。

- 事業概算書
- 販売計画書
- 組織図案

安心・安全な食を、日本のあらゆる地域から世界へ。